



## 《将来に向けた取組方針》

三井化学グループは、気候変動・廃棄物埋立・海洋へのごみ流出・環境汚染等の影響による生物多様性の損失を防ぐため、ステークホルダーと共に下記の取組みを行い、「環境と調和した共生社会」の実現を目指します。事業活動の低炭素化による気候変動の緩和、リサイクル技術開発等による資源循環の推進、バリューチェーンとの協働によるプラスチックごみの低減、サプライチェーンを通じた化学物質管理による環境への負影響の低減、生物の生活圏を守る製品の開発、啓発による従業員の社会活動参加。

## 〈具体的取組み事例〉

### 海洋ごみへの対応

- ・NPOと共に「海ごみ問題を考えるワークショップ」を開催し、社会と従業員を啓発しました。その後、海洋ごみの知識を活かした新製品開発に向けた社内勉強会の実施につながりました。



19年度社内勉強会

- ・「クリーンアップ・キャラバン」を国内全事業所や関係会社、海外の統括会社で実施しています。



18年度小笠原諸島・父島



19年度知床半島

- ・プラスチック・バリューチェーンの企業連合に参加し、インフラ開発・イノベーション、教育啓発活動、清掃活動に取組みます。



### 田んぼの生きもの調査

農薬などを製造・販売している三井化学アグロは、顧客とともに「田んぼの生きもの調査」を2012年から毎年実施しています。農業生産者、消費者の方々とともに、田んぼには多くの生きものが生息していることを観察し、環境と共存しながらの米作りの重要性について学習しました。水田の生きものに及ぼす農薬の影響を調査し、製品の改善や開発につなげています。



ステークホルダーとともに  
「環境と調和した共生社会」を目指します